

リニア新幹線川崎市内立坑予定地視察案内記

2015. 9. 7

日本共産党国会・神奈川県会・川崎市議会議員団のリニア非常口視察の案内を依頼されて、9月7日当日、午前9時から午後3時まで予定地5か所を案内しました。等々力は天野、梶ヶ谷と犬蔵は山本(太)さんと天野、東百合丘と片平は伊藤(清)さんが現場で説明をしました。最初の等々力では周辺の住民4人が出迎え、「リニアが通ることを知らない住民が多い」、「最悪どのような影響があるのか」という声が上がりました。JR東海や市の説明や情報提供の無さはもちろんありますが、私たち連絡会としてこまめに継続的な情報提供の必要を痛感しました。今回は等々力や犬蔵、そして片平については工事に関する状況の変化はありませんでした。以下、変わったところを中心に報告します。

①等々力非常口予定地



JXホールディングス所有のENEOS野球部のサブグラウンド（青い草地部分）に建設予定です。ただ、写真右側のテニスコートに施設等を建てるので工事ヤードは広がります。工後は緑化をしていますが、市民の立ち入りは許さないとJR東海は説明しています。また、この場所は地震時の一時避難場所であり、洪水で多摩川が決壊した場合は5メートル冠水するそうです。

②梶ヶ谷非常口予定地

JR貨物のターミナルですが、JR同士とあってすでに予定場所にあるサントリーの物流倉庫の取り壊しが始まっています。周辺には防塵用の白いシートが張られ、クレーンを使って建物を壊しています。どのくらいの量のリニア残土をどうやって搬出するのか未定の段階で、工事のための準備を急ぐJR東海の姿勢には憤りを覚えます。



③犬蔵非常口予定地

サンワ株式会社の本社・工場がありますが、以前と変化が無いので省略します。ただ、南側には大型マンションが隣接しており、工事中は騒音、振動、泥埃りなど大きな影響がありそうです。

④東百合ヶ丘非常口予定地



元日本合成ゴム（現JSR）研究所跡地で、今の所有者は大成建設です。立坑予定地未定の段階で大成建設が買い取ったので、あらかじめこの場所は非常口になっていたのだと思います。いまだ手つかずですが、門の柵にはJR東海が管理していることを示す看板が掲げられています。跡地の一部を買い取ったスーパーいなげやは近々開店する予定。いなげや手前の尻

手黒川線から住宅地に入る角には、左折を控えるよう求める掲示が掲げられていました。リニア車両の出入りで尻手黒川線が渋滞しここを曲がるクルマが増えることが心配です。



⑤片平非常口予定地



町田との市境にある日本開発投資銀行の鶴川総合運動場です。野球のグラウンドの内野ゾーンに造られる見通しです。ここから尻手黒川線方面に工事用の取り付け道路ができますが、今のところ特に変化は見られませんでした。道路建設が予定されている緩やかな斜面は小規模な野菜畑があり、周囲は結構雑草が生い茂っていました。この農地の東側には田園都市病院の介護施設があり、道路工事の影響がありそうです。

また、道路をつくるための工事車両は総合運動場の入り口から出入りすることになると思われ、工事車両は町田市能ヶ谷の住宅街を走行することになるのでは。そうした具体的な説明も無いまま、計画が進んでいます。

十分な情報を与えられないまま、沿線各地で土地を高値でJR東海が買い取ってくれるのではないかと期待が住民にあることは事実ですが、山梨実験線を見ても高架下の土地や住宅を買い取らず、日照などでわずかな

補償で済ませようとしているJR東海の姿勢をみれば、期待は裏切られることになるのではないのでしょうか。下の写真は田園都市病院です。その裏手が道路がつくられる農地で、上の写真がその場所です。

左下が真下をリニアのトンネルが通る麻生総合高校。右下は町田市能ヶ谷の住宅街です。



(報告・天野)